

技術の窓

自分で障子を開けてみることをおすすめ 中村正彦(サイドキックスジャパン)

2

特集

ドライバ評価手法のこの10年と将来展望

発行日(発行月1日)より
特集記事の抄録を
スマートフォンでご
覧いただけます。



● 総括展望

ドライバ評価手法のこの10年と今後の展望

赤松幹之・佐藤稔久(産業技術総合研究所)

6

● 技術動向とドライバ評価

自動車の革新に対する人間工学の将来課題

牧口 実(トヨタ自動車)

14

● 行動による評価

自動運転レベルの分類で整理した
ドライバ運転行動研究の変遷

竹本雅憲(成蹊大学)

30

● 生理による評価

身体負担評価ツールの現状と研究動向

茅原崇徳(金沢大学)

38

● 心理による評価

さまざまな非侵襲脳機能計測技術の特徴

岩木 直(産業技術総合研究所)

50

CX-60ドライバ異常時対応システムの開発

濱田隆史・山下良幸・西條友馬・休坂慎也・辻 雄太
高田淳平・中畑 洋一朗・山本直樹・尾崎 昂・野中信宏
(マツダ)

22

生理指標を用いた鉄道運転士の状態推定

中川千鶴(鉄道総合技術研究所)

44

さまざまな心理測定手法とその注意点

紀ノ定 保礼(静岡理科大学)

58

Hot Topics

旬な話題を集めました

積層型吸音材の音響特性向上に向けた
均質化法と機械学習による解析

藤原幸宏(AGC) 山本崇史(工学院大学)

64

限定区域内における大型路線バスの
自動運転

瀧見新平(いすゞ自動車)

86

スタンドアロン型HMDを用いた歩行環境シミュレータの開発と
歩行者の車道横断行動の計測—CAVE型との比較を含めて—

水戸部 一孝・鈴木 篤(秋田大学大学院)

72

甲州ぶどう残渣(ワインパミス)とPP・バイオ
マスPPを組み合わせたペレット・化粧品容器

吉田秀樹(ミヤコ化学)

92

大型商用車用廃熱回収ランキンサイクルに
関する研究

相園 齊・福永 晋・松浮朋冬・浅野雅樹・阿部 誠
加藤晃太・吉永寛史(いすゞ中央研究所)

78

新型コロナウイルス感染症・ビッグデータ・
数理モデル

土谷 隆(政策研究大学院大学)

98

超 の 世界

瞬目パターンに浮かび上がるフォーミュラカードライバの認知状態変化

西園良太・西條直樹・柏野牧夫 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

104

なるほどのコーナー
スポットライト

世界最高電力密度・最高感度の超薄型音力発電素子および皮膚貼り付け型音響センサ

李 成薫 (理化学研究所)

106

標準化活動レポート

パワーエレクトロニクスシステム部会高電圧部品耐環境試験法分科会の標準化活動

飯山忠明 (日産自動車)

108

技術会議活動レポート

デザイン部門委員会見学会 話題提供「三式戦闘機 飛燕」修復プロジェクトと「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」見学レポート

田中昭彦 (名古屋芸術大学)

110

リレーエッセイ

学生フォーミュラの
日々そして今

学生フォーミュラとの関わり

平城 真太郎 (静岡大学)

112

技術会通信

会員	113
会議予定	114
参加者募集	118
2024年自動車技術会フェロー候補者 募集	122
第34 回内燃機関シンポジウム開催報告	124
FAST-zero'23開催報告	125

次号特集

乞うご期待!!

今月の表紙

ヤマハ TRACER9 GT+

「TRACER9 GT+」は、"The Multirole fighter of the motorcycle with advanced technologies" をコンセプトに開発しました。ツーリングの目的地で心ゆくまで楽しんでいただくために、道中でのライダーの負担軽減を図った、当社ツーリングカテゴリーのフラッグシップモデルです。

車名・型式	ヤマハ トレーサー9 GT+・8BL-RN70J
全長(mm)	2,175
全幅(mm)	885
全高(mm)	1,430
車両重量(kg)	223
車両定員(名)	2
総排気量(L)	0.888
最高出力(kW/rpm)	88/10,000
最大トルク(Nm/rpm)	93/7,000

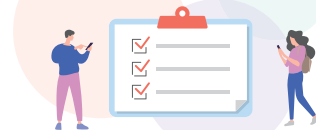


(ヤマハ)

読者の皆様へ

本誌アンケートのお願い

皆様の声をお聞かせください



本号で「目次から興味を持った記事」「誰かにお勧めしたい記事」など、率直なご意見・ご要望をお待ちしております。是非アンケートへのご回答をお願いいたします。皆様のご意見を参考に、本誌編集委員会は有意義な情報を提供できる会誌づくりに努めて参ります。

アンケートの
ご回答はこちら設問は10問、
3分ほどで
ご回答いただけ
ます!